

カーボンニュートラル福井コンソーシアム 「オープンフォーラム」 の取組みについて

令和7年6月10日
福井県エネルギー課

脱炭素化に向けた連携体制について

② 県・市町連携

カーボンニュートラル 県・市町連携会議

- 構 成
各市町温暖化対策担当課
福井県エネルギー課、環境政策課
- 内 容
○ 県の取組み説明
○ 次年度予算に向けた依頼
○ 脱炭素先行地域等、情報共有
- 開催実績
令和5年度 4回開催
令和6年度 5回開催



① 産学官金民連携（オール福井）

カーボンニュートラル 福井コンソーシアム

- 構 成
全体会議：各界の代表者
オープンフォーラム：実務担当者
- 内 容
○ 温室効果ガス排出削減にむけた方針の決定（全体会議）
○ ワークショップの開催や現場での課題解決、ネットワーク構築（オープンフォーラム）
- 全体会議開催実績
令和5年11月8日（水）設立会議開催
令和6年8月6日（火）第2回開催

連携

連携

連携



③ 庁内での連携

福井県カーボンニュートラル 推進本部

- 構 成
本部長：知事
副本部長：両副知事
本部員：教育長、各部部長
事務局：エネルギー課、環境政策課
- 内 容
○ 庁内の取組み共有
○ 次年度予算に向けた依頼
- 開催実績
令和5年10月2日（月）第1回開催
令和6年8月26日（月）第2回開催



カーボンニュートラル福井コンソーシアムについて

活動イメージ

- ①幅広い関係者と連携・協働し、**目標・情報・課題・認識の共有**
- ②各主体が2030年度49%削減に向け**具体的に取り組む**、新たな**価値づくり**にも挑戦
- ③各主体の取り組みの見える化を進め、**先進的・具体的な取り組みを全県へと拡大**



活動内容

- 構成 各界の代表者
- 活動内容
 - ✓各機関の脱炭素に向けた取り組み共有、意見交換
 - ✓新年度の新規施策立案に対する要望、県からのお願い・呼びかけ 等
- テーマ
 - ✓49%削減に向けた県民・企業運動に繋がるもの
 - ✓「脱炭素」を軸にした新しい価値づくり・サービスについて 等

全体会議（代表者）

取組みの方針決定

取組みの報告、先進事例の共有

全体会議

オープン
フォーラム

- 構成 企業・団体の経営者・実務担当者【**どなたでも参加可能**】
- 活動内容
 - ✓各機関の脱炭素に向けた取り組み共有、情報交換
 - ✓脱炭素に向けた課題抽出、ワークショップ実施、参加者同士のマッチング 等
- テーマ
 - ✓省エネ・再エネの推進
 - ✓脱炭素を起点とした新ビジネス展開
 - ✓脱炭素経営のための人材育成
 - ✓国際的な脱炭素の認証取得 等

オープンフォーラム（実務担当者）

R6年度の実施状況について

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

全体	●6/6キックオフセミナー 3/17成果報告会●										
①脱炭素経営	●実践WS1回目（7/25） ●実践WS2回目（10/25） ●実践WS3回目（11/22）										
②省エネ実践	●先進事例研修会①（7/16） ●先進事例研修会②（10/11） ●先進事例研修会③（1/15） ●先進事例研修会④（3/17）										
③太陽光 蓄電池	●8/22ペロブスカイト太陽電池セミナー（講師：桐蔭横浜大学 宮坂力 教授） ●8/28 池田町先進事例勉強会										
④水素・アンモニア	11/19●水素エネルギー利用セミナー（ふくい水素エネルギー協議会と共催）										
⑤カーボンクレジット	●7/18カーボンクレジットセミナー1回目（講師：近畿経済産業局） ●12/12カーボンクレジットセミナー2回目（講師：バイウィル社）										
⑥付加価値づくり	●10/9付加価値づくりワークショップ（講師：株式会社大川印刷 大川哲郎 社長） ●11/12グリーン・マーケティングセミナー（講師：日本総合研究所、県内企業） ●1/31CO2見える化（講師：アスエネ社）										

令和6年度

16回開催

延べ

550名参加

実施内容のご紹介（一部）

脱炭素経営



福井県カーボンニュートラル推進アドバイザー

石井 元 氏

【7月25日、10月25日、11月22日 ご登壇】

■ こんな事を学びました

- ☑脱炭素経営の進め方
- ☑自社におけるCO2算出量の計算
- ☑具体的な削減方法の検討 等

太陽光



桐蔭横浜大学医用工学部

宮坂 力 教授

【8月22日 ご登壇】

■ こんな事を学びました

- ☑ペロブスカイト太陽電池の実力や開発状況
- ☑日本における産業化の状況 等

付加価値づくり



株式会社大川印刷 代表取締役社長

大川 哲郎 氏

【10月9日 ご登壇】

■ こんな事を学びました

- ☑脱炭素化に向けた実践や付加価値づくりへのアイデア創出 等

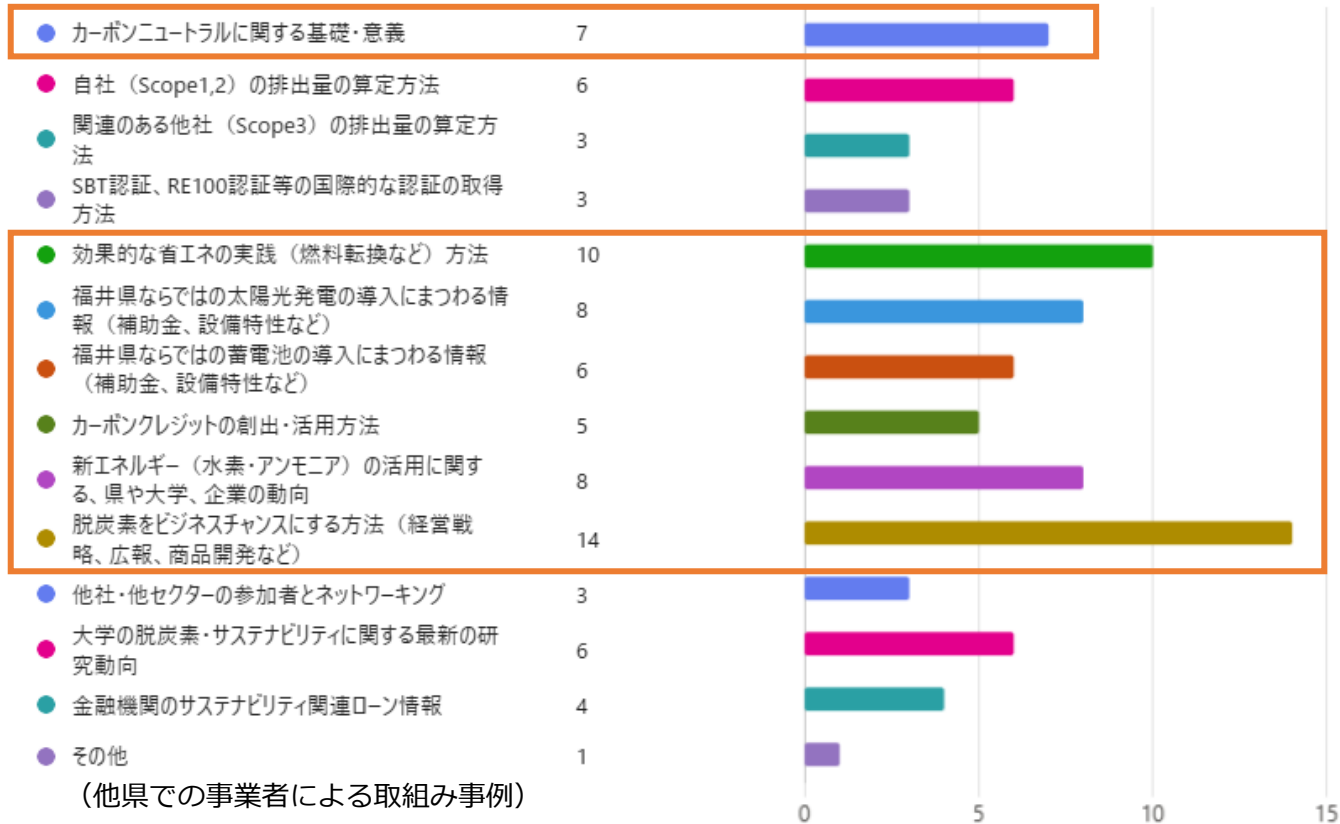
実施内容のご紹介（一部）



今年度の取組について

オープンフォーラム参加者へのアンケート（R7.1～R7.3）【回答数=17】

Q3、令和7年度のオープンフォーラムで取り上げてほしいテーマはありますか。

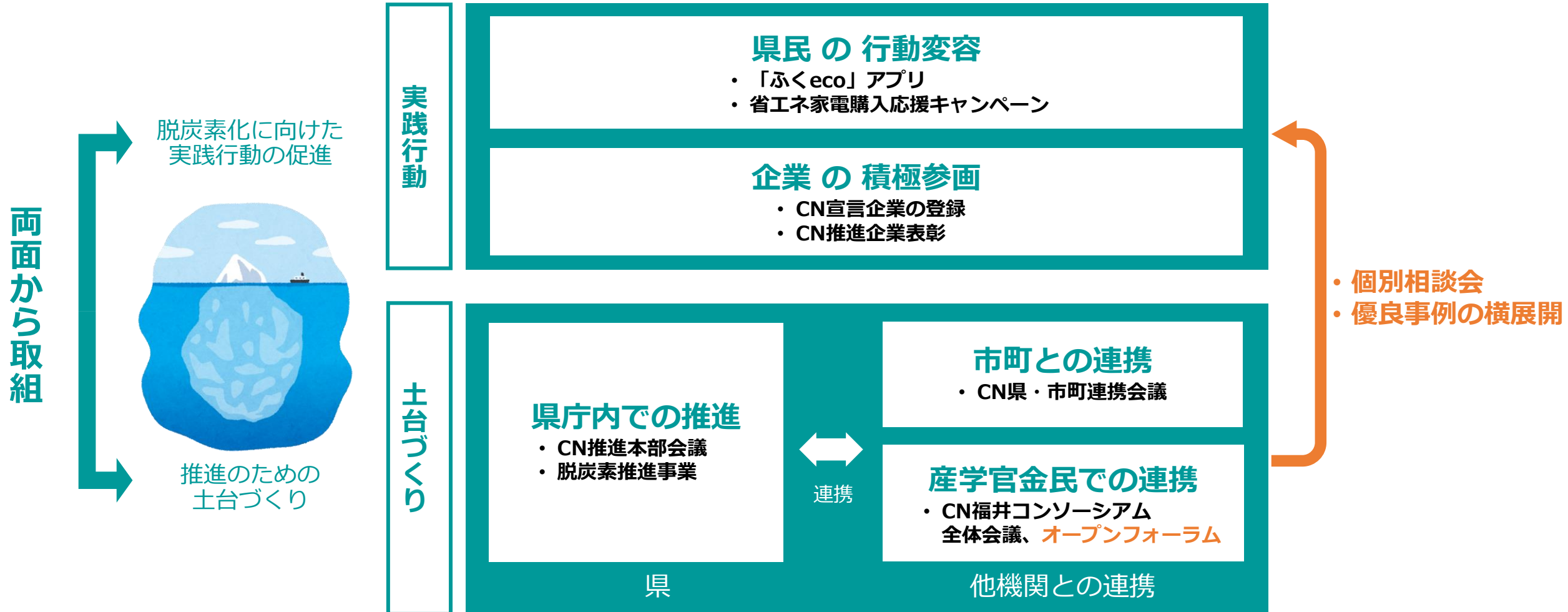


Q4、オープンフォーラム全体や今後の企画に関するご意見・ご要望はございますか。

- ☒ 実践事例紹介は参考になるので継続してほしい。ESG投資について詳しい解説があると有難い。
- ☒ 県内企業にとってのカーボンニュートラル達成に向けて最も効果的・効率的・経済的なロードマップ（方法論）を知りたい。
- ☒ FIT・FIP制度や脱炭素オークションの仕組みについて知りたい。
- ☒ 勉強会に参加する時間が無い人もいるので、大まかな方向性や考え方を知ることが出来る情報プラットフォームがあると良い。等

今年度のオープンフォーラムの方向性

○脱炭素化推進のための土台づくりを進めつつ、**実践行動**を後押しするため、**個別相談会・WS等による参加者間の相互コミュニケーションや、事例発表・視察等による優良事例の横展開**を推進



今年度のオープンフォーラムの方向性

“より実践的に、より連携的に”
共に踏み出す仲間を探すきっかけの場

“実践”

○相談会、実践会、先進事例共有、現地視察

“連携”

○座談会、ワークショップ、交流会



仲間が増えるよう、基礎的なセミナーも開催

テーマ別勉強会・交流会について

▶ 脱炭素経営の進め方や省エネの実践方法について学びたい方へ

①脱炭素経営（進め方、自社におけるCO2排出量の算定）

②事例から学ぶ省エネの実践

▶ 脱炭素化に向けた新たな手法について学びたい方へ

③福井県における太陽光発電・蓄電池の有効な活用

④福井県におけるカーボンクレジットの有効な活用

▶ 脱炭素化への対応を新たな価値づくりに変えたい方へ

⑤脱炭素化に資する付加価値づくり

今後のスケジュールについて（案）

※検討中のものであり今後変更予定

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体		●6/10キックオフセミナー									成果報告会（3月）●
①脱炭素経営 講師：石井元 氏				●7/17 セミナー1回目 ●8月 実践WS1回目	●9月 セミナー2回目 ●10月 実践WS2回目		●11月 セミナー3回目 ●12月 実践WS3回目				
②省エネ実践				●8月上旬（予定） 省エネ実践セミナー （ふくいエネルギーマネジメント協会） ●事例セミナー							
③太陽光 蓄電池							●10月以降（予定） 次世代太陽光発電 （大学・研究機関）			●2～3月（予定） 融雪機能付き太陽光 発電の導入（池田町など）	
④カーボン クレジット					●8月下旬（予定） Jクレジット活用 （近畿経済産業局など）						
⑤付加価値づくり						●9～10月（予定） サプライチェーン連携による脱炭素 （福井鋳螺(株)など） ●11月（予定） 脱炭素と商品開発 （マルイチセーリング(株)など）					

☒ どなたでも

☒ どこからでも

☒ 何回でも

参加可能です！
（すべて参加無料）

「オープンフォーラム」の
専用ホームページにて、
イベントの参加者募集を順次行います。
(6月下旬募集開始予定)

**皆様のご参加を
心よりお待ちしております**